

図書・資料室だより

これからの時代の男性へ

『新しい声を聞くぼくたち』

河野真太郎 // 著
講談社 2022年

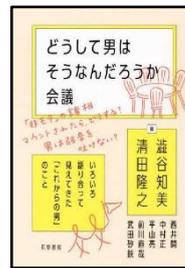
近年のフェミニズム興隆の中で男性はどう生きるべきか？映画、漫画、ドラマ、小説など様々なコンテンツから読み解きます。ジェンダーやフェミニズムの新しい声に耳を傾け、自分の問題としてそれに取り組む必要性を力説します。



『どうして男はそうなんだろうか 会議 いろいろ語り合ってきた「これからの男」のこと』

澁谷知美/清田隆之 // 編
筑摩書房 2022年

「非モテ」の苦しみ、マウント合戦、男のカラダなど、「男であること」を正しくとらえ、男たちの「現在」そして「これから」を考察します。



『男がづらい！』

資本主義社会の「弱者男性」論
杉田俊介 // 著
ワニブックス 2022年

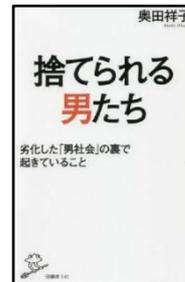
男らしさの呪縛から解放されて、冴えない、裕福でもない、特別な才能もない平凡な人生をそこそこ幸福に生きていく—男たちの新しい生き方のモデルを記します。



『捨てられる男たち 劣化した「男社会」の裏で起きていること』

奥田祥子 // 著

SBクリエイティブ 2021年
どうしてこれがハラスメントなんだ！と無自覚ハラスメントに困惑する男たち。伝統的な男らしさの固定観念に基づく男社会の価値観が揺らぎ、職場や家庭、社会からも取り残されようとしている男たちへ、警告とエールを送ります。



『パパの家庭進出がニッポンを変えるのだ！ ママの社会進出と家族の幸せのために』

前田晃平 // 著
光文社 2021年

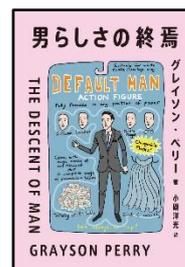
新米パパがママの視点で見つめたら世界は別の場所だった。親子にまつわる社会問題は、当事者であるパパが主体的に動き出せば変革できるはずだと、経験者は語ります。



『男らしさの終焉』

グレイソン・ペリー // 著
小磯洋光 // 訳

フィルムアート社 2019年
男性が変われば世界全体をより良い場所にできるはず、ターナー賞アーティストであり異性装者(トランスヴェスサイト)として知られる著者が、新しい時代のジェンダーとしなやかな男性のあり方を模索します。



子育て中のあなたのための「自分時間」

6月 3日(土) & 13日(火)

10:30~12:00 図書・資料室など

同じ内容での2回開催です。ご都合の良い日にご参加ください。

託児希望の方はそれぞれ1週間前までに申込をお願いします。

主催：NPO法人男女共同参画をすすめる会・I YOU 淡海

共催：滋賀県立男女共同参画センター

託児申込 NPO法人男女共同参画をすすめる会・I YOU 淡海

メール：npo_iyou_oumi_2008_4@lily.ocn.ne.jp

または、右記のコードを読んで、「メール作成画面はこちら」をクリック。必要事項を記入してメールを送信してください。

Tel：0748-43-1620（火～土） Fax：0748-43-1621

自分の時間を持つことが難しい
子育て中のあなたに。
ゆっくり自分だけの時間を図書室
で過ごしてみませんか？

参加は申込不要ですが
無料の託児は申込が必要



G-NET シネマ

『オフサイド・ガールズ』

[字幕作品]

2006年/イラン/92分

イランではサッカーは国民的なスポーツとして大人気。しかしスタジアムに女性が入場するのは禁止されていた。それでもサッカーを見たい、応援したい少女たちは男装をしてスタジアムにもぐりこみ…ルールに逆らって突き進むオフサイドな少女たちの大作戦が始まる。

6月24日(土) 13:30~

男女共同参画センター“G-NETしが”大ホール

《参加無料&申込不要》

無料託児あり;6/17(土)までにお申し込みください

男女共同参画絵本を紹介



『みえるとかみえないとか』

ヨシタケシンスケ // 作

伊藤亜紗 // 相談

アリス館 2018年

宇宙飛行士のぼくが降り立ったのは、なんと目が3つある人の星。「後ろが見えなくてかわいそう」とか、「後ろが見えないのに歩けるなんてすごい」とか言われて変な感じ。そこでぼくは目の見えない人に話しかけてみる。目の見えない人が「見る」世界は、ぼくとは大きく違っていた！

図書・資料室 ご利用案内

●開室時間 9:00~17:00

●5月の休室日

1日、4日~8日、15日、22日、
29日

●貸出(本・雑誌)15冊 3週間まで

(DVD) 2本 1週間まで

●お問い合わせ先(電話)

0748-37-3735(図書・資料室直通)

0748-37-3751(センター代表)



滋賀県立男女共同参画センターの情報はこちらからご覧になれます

